

磐城時報

日十二日刊
編輯兼發行人 岡田 弘
印刷所 加納活版所
印刷部 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一月金肆圓
廣告料行立字一詩金五十錢
▲日刊 (日曜、祭日) 休刊

四倉蘭市況

空前の大量出廻り

第二日の取引四千五百貫 約二千貫立會不能

四倉蘭市場取引第二日目の昨日は前日に比九日は早朝からの出廻り多く午後一時既に前日の三千貫を突破途に午後六時に至つて出廻り六千貫に達する記録破りの出廻りを

見手が手合せの結果當日の取引は白蘭四千四百三十九貫七百九

貫(掛目十九) 黄蘭高値二圓六十錢 安値一圓五十錢 買別二圓十錢 (掛目十八)

手合出来ず持歸つた、當日の相場は前日に比して幾分上向気配を示したが黄、白蘭とも遂に二十圓の關門を割つて今春の最安

四倉築港工事

設計の欠陥發見

第二期工事として 補強工事執行

四十萬の工費を投じ四ヶ年繼續欠陥ある事を發見築港事務所では東北延長計六百五十二米の防波堤並びに港内防砂堤略圖參照を完成し目下は三千五百平方米の船溜場を平均干潮面三米にすべく港内を縦横に締切つて岩盤の掘鑿中であるが最近に至り築港完成後の船舶出入口に一大

波浪のウネリはこの海底断崖に突當り猛烈な勢ひをもつて船舶出入口を襲ひ航行中の漁船に對し常に危険を與へる一この状態が持續すれば四十萬圓の巨費を投じた築港は何等利用價值がない。

南町の小火

昨夕方 昨十九日午後四時四十分頃平町字南町料理店入船事服部せつ(四)方風呂場から突如發火屋

更には第二期工事として工費約七が發見消火に努めたので同五時八萬圓を投じ既設東北防波堤頭大事に至らずして鎮火した。

の端から併行に百五十米の防波堤發火原因は風呂の火不始末から堤二本を水深十五米の箇所までであるらしい。

田植季節に入つた昨今の空梅雨に續き早場の替崎、玉川、泉、小名濱等を始め全郡下水不足で植付不能に陥り憂慮されてゐた

が突如今日早朝全郡下水不足の梅雨氣分を見せ始めたので前記早場の各農家は勿論黄金の慈雨に躍り上つて喜び一齊に田植を開始した。

郡農會では語る 「幾分伸び過ぎた傾きはあ

が今日の慈雨で全く蘇生の思ひです、早場の方面は勿論此の機を逸せず植付のでせうから水不足で植付不能の心配はけはなくなりました。」

四倉鶏鳴會例會 四倉町鶏鳴會の第二十六回例會は来る廿二日午後八時から本町青年會館で開催左の協議をなす

△郷土の築改訂の件 △大敷網見學の件

前借踏倒しの 常習漁夫逮捕 外數件の窃盜余罪

當時住所不定無職宮城縣石巻市字本町生れ武雄(二六)は去十六日午後四時頃小名濱町字定西小野仲夫方の留守宅に忍入り現

金三圓在中の墓口、黒皮靴一足代八圓余その他數点を窃取した事發覺十九日夜平町を徘徊中檢

入學は毎月初日 磐城 洋裁専門學院 女子 (規則書郵券貳錢) 平町白銀町一五

空巢視檢舉 余罪の見込 當時住所不定無職宮城縣石巻市字本町生れ武雄(二六)は去十六日午後四時頃小名濱町字定西小野仲夫方の留守宅に忍入り現

金三圓在中の墓口、黒皮靴一足代八圓余その他數点を窃取した事發覺十九日夜平町を徘徊中檢

入學は毎月初日 磐城 洋裁専門學院 女子 (規則書郵券貳錢) 平町白銀町一五

空巢視檢舉 余罪の見込 當時住所不定無職宮城縣石巻市字本町生れ武雄(二六)は去十六日午後四時頃小名濱町字定西小野仲夫方の留守宅に忍入り現

金三圓在中の墓口、黒皮靴一足代八圓余その他數点を窃取した事發覺十九日夜平町を徘徊中檢

入學は毎月初日 磐城 洋裁専門學院 女子 (規則書郵券貳錢) 平町白銀町一五

空巢視檢舉 余罪の見込 當時住所不定無職宮城縣石巻市字本町生れ武雄(二六)は去十六日午後四時頃小名濱町字定西小野仲夫方の留守宅に忍入り現

金三圓在中の墓口、黒皮靴一足代八圓余その他數点を窃取した事發覺十九日夜平町を徘徊中檢

入學は毎月初日 磐城 洋裁専門學院 女子 (規則書郵券貳錢) 平町白銀町一五

黄金の慈雨に 躍り上る農村

全郡下一齊に植付開始

小濱築港 作業困難

山田村の農家火事

原因は竈室暖爐の火

空巢視檢舉

余罪の見込

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

女子

洋裁専門學院

つて僅に四五時間しか出来ないといふ難工事であつたが過般辛うじて五千米の東防波堤が出来上り目下深溝作業中であるがこれは又一層至難な工事であるため到底深溝の使用が不可能で僅に潜水夫を使用してゐるが、しかも風風時々に限られてをり斯うした状態の儘施行してゐる場合は今後三四年も要するの事で事務所員もホト／＼困り抜いてをり、平土木監督所では目下これが對策に就いて非常に腐

山田村大字山田農小口字三吉方の養蠶室から十九日午後十時半頃突如發火し瞬間に燃え擴がり居室全焼後隣接の住家一棟非り居室二棟計四棟を全焼して同十一時半鎮火した。發火の原因は蠶室の暖爐から、損害約二千圓に達する見込である。

入學は毎月初日 磐城 洋裁専門學院 女子 (規則書郵券貳錢) 平町白銀町一五

空巢視檢舉 余罪の見込 當時住所不定無職宮城縣石巻市字本町生れ武雄(二六)は去十六日午後四時頃小名濱町字定西小野仲夫方の留守宅に忍入り現金三圓在中の墓口、黒皮靴一足代八圓余その他數点を窃取した事發覺十九日夜平町を徘徊中檢

更に新製品を加へて豊富に

新製品 子供服 婦人服 取揃ひました!

涼味溢れる ホワイト製品 ● 長襦袢・スカート ワイシャツ・肌着 カーテン・テーブル掛 座布圍カパー ● その他

麻 製品 列陳

ボイル 列陳

レイス 列陳

店品洋野中 三五電・二平

先に福島縣第一車を入れ大方皆々様の御試乗を願ひ御好評にあつかりましたニールアクシオン装置の第二車が又昭和タクシーに入り皆々様にデビューしました。何時も皆々様の忠實なる御供昭和タクシーに御用命願ひます。

遠乗御回遊等には特に御相談に應じます

平驛前 昭和タクシー
電話三四番・三四〇番

東京株式取引所 短期取引員
角治商店
電話茅場66 (三三) 三三三三 三三三三
代表 電話 三三三三 三三三三 三三三三 三三三三
東京市日本橋區兜町一ノ四電路カヌヘカクヂ


店式株の町平
角治株式商店
公社債。株式現物賣買
平町本町三丁目 七十七銀行隣
大谷時計店側
電話 七三三番
株式日報 御報進呈
御報進呈 主任 山田芳藏

質物一般
營業時間 午後九時迄
三井質店
平町四丁目川岸通り
電話 六〇六番

耳鼻咽喉科専門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平町田町(電話五八番)
藤田女學校前
(入院のお需めに應ず)
自炊の便あり

電話三五二一 番開設
有給外務社員招聘
紳士的奮闘家を求む相當優遇す
有隣生命株式會社
平町大町 平山張所
鈴木健司

安全剃刀
鏡衣白
芳香園理髮器具店
平驛前(電話六八〇番)



300 Safety 500
"PAR" STROPS WITHOUT
LADE

自動研皮應付
パーレット安全剃刀

石玉
炭ス炭
阿部石炭商店
平驛前
電話三七番

外科専門
光線科
上田外科醫院
電話一二九番
病室完備
平町南町
入院應需

晴雨パラソル
新型子供ボーシ各種
ツルヤ
平四 電話一四〇番

晴れても雨でもさせる
特色
このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えしました

塩豚
コンボーク
平町田町
三三三三屋
電話三三三番

野口英世博士の映畫化
偉大なり!
野口英世博士の映畫化
阿弗利加奥地に猛獸毒蛇及人喰人種と闘ひ催眠病研究の奇き犠牲となりし博士を主題とせる
万代不朽の名篇



博士は本縣會津翁島の出生にして世界醫學界の大權威者なり

平館
特別大興行
六月二十一日



版本日 聲發全
畫映獸猛
ナガナ
作大社ルサーアウニユ

磐城鐵工同業組合
移轉御知らせ
毎度御引立に預り厚く御禮申上候
此度四倉驛前(元金誠)の跡に移轉致し従前通り營業仕り候
昭和九年六月二十日
四倉驛前
關彰商店四倉支店
電話四十八番